



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096) 383-4874
FAX (096) 383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
<http://www.facebook.com/kakuhouji>

誰一人取り残さない

門主 大谷光淳

五月二十一日に親鸞聖人のご誕生をお祝いする降誕会をお迎えいたします。例年であれば、本願寺をはじめとする各地の寺院において法要が盛大にお勤めされますが、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、賑々しく法要・行事を執行することができなくなりました。

まず、このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた国内外の多くの方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。感染リスクにさらされながらも、懸命に治療・対策にあたられている医師、看護師をはじめとする医療従事者の方々、ライフラインの維持に努めておられる方々に深く敬意と感謝を表します。



この感染症は新型と言われているように、専門家の方にもわからない点が多く

あります。そのような中で、懸命に治療に当たられている医療従事者の方やそのご家族、残念ながら亡くなられた方やご遺族、また治療中の方や回復された方が、いろいろな誹謗中傷を受けて差別されたり、排除される事例が少なからず報告されています。差別する側の人には、自分自身や家族は感染することはないという根拠のない思い込みがあるのではないのでしょうか。収束のめども立たず、感染防止のための自粛生活によるストレスなど、やり場のない怒りや苦しみから逃れるために単純に物事を善と悪の二つに分け、自分を善の側に置き、自分と異なる立場の人びとを悪として非難し排除することが非常に危険な考え方であることは、今日の世界情勢を見ても明らかです。

いのちのつながりの中で生きる

事情に応じた取り組みもなされていますが、私たちは社会の一員として困難な状況にある方へ思いを寄せて、出来ることから始めてまいりましょう。

仏教では、この世界と私たちのありのままの姿を「諸行無常」と「縁起」という言葉で表現します。新型コロナウイルス感染症という新たな病気に直面する社会において、仏教の説く真実は私たちの心に届き、これからの生き方を示しています。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の「状況分析・提言」は、「新しい生活様式」への移行を求めています。それは、私と他の方々の「いのちを守る」ための行動が必要だからです。私たちは感染拡大前の社会や生活に戻るのはできないかもしれないが、すべての人びととお互いに関わり合い、大切ないのちのつながりの中で生きていくのですから、「誰一人取り残さない」という理念を持ち、これからも仏教や浄土真宗のみ教えを伝えるお寺が人びとの依りどころとなるよう、社会の中でできることを実践してまいりましょう。

ご本尊は本山からお迎えしましょう

ご本尊について
お問い合わせ

参拝部 075(371)5181 まで
覚法寺 096(383)4874 まで

住職雑記

二月の終わり突然の事でした。全国の小中高に対し政府は、三月二日から臨時休校要請をおこない、学校は一斉休校となりました。▼思い返しますと当初は、こんな時にこそお寺として何か出来ることがあるのではないかと考えていました。今はつべこべと文句を言っている動かし時ではなく、できることを模索し協力しあって動く時であると思います。「臨時寺子屋」が誕生しました。▼途中に、テレビ局の取材が来たり、全国浄土真宗の二万ヶ寺に配布される本願寺新報の取材もあり、私の意思に反してあまりに大きな反響に驚きと戸惑いを隠せませんでした。▼およそ三ヶ月間に渡り、子どもたちそして大人たちも頑張りました臨時寺子屋が修了し学校が再開されました。ウイルスによる世間の状況は刻々と変化しているなか、とにかく感染に巻き込まれることなく無事に終えることができたのが何よりでした。▼子どもたちはウイルス問題に振り回されながらも楽しく元気に二日を精一杯生きていくようでした。そんな子どもたちから、こちらでも沢山の事を学ばせていただいた臨時寺子屋でありました。

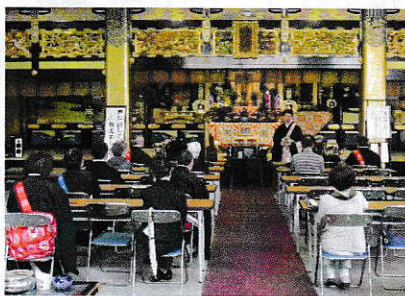
親鸞聖人の降誕会

五月三十一日に予定しておりました降誕会法要と講談が中止になり、朝のお晨朝と兼修にて、少人数にて法要をおこないました。

降誕会の日のご和讃は本願寺と同じく『浄土和讃』の大経讃であります「尊者阿難座よりたち」です。また、この日だけ特別に、「しんらんさま」を歌いました。この「しんらんさま」は、NHKで今放映されている「エール」でお馴染み古関裕而氏(ドラマでは古山裕一)が作曲されたものです。昭和三十六年(三十七年)の親鸞聖人七〇〇回大遠忌法要に合わせて誕生した歌です。

お晨朝の後は、本日御開山親鸞聖人のところにお供えしました、紅白饅頭を皆さんお持ち帰りくださいました。このような時にでもご参拝くださり誠に有り難いできごとでした。

来年こそは降誕会&講談の法要を実現したいと思います。



花まつり

例年四月八日のお釈迦さまのお誕生日に合わせて四月に企画しております「花まつり・春の子ども会」を今年は四月三日に開催いたしました。

小学生の参加者は十七名、中高生が四名お手伝いに来てくれました。今年は新型コロナウイルスの感染予防を考慮しながら、昨年までとは内容を大きく変更し、餅つきは中止、レクレーションも室内での密を避けるため水前寺公園の芝生広場にて、〈キンボール〉という大きなボールを使って遊びました。

その後覚法寺本堂にて、花まつりの法要をして、〈初参式〉が行われました。このコロナ自粛期間中の寺子屋で〈重誓偈〉のお経を覚えた小学生たちも一緒に勤めをいたしました。



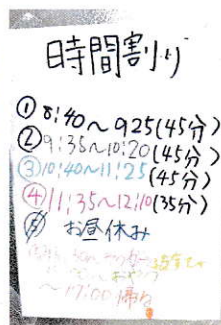
法要では献灯をしました





お夕事

毎日午後4時には、子ども達と一緒に参りをしました。



臨時寺子屋
子ども会
仕事のある
家庭の子を預かる



つくし取り体験



紙芝居

御門徒さんの所に行きました。



お掃除



絵画教室

ブロッコリーの絵を描きました。

住職・坊主・法務員そして活動を聞きつけ手伝いに来た子ども会OBの中学生が見守る中、連日10～20人ほどの子ども達がお寺に集まりました。

午前中は学校の時間割に準じて宿題や自学をして過ごし、昼食の前半は、多くの方々から寄せられた食材を調理し、後半はお弁当を持参していただきました。

午後からは、「お寺のお手伝い」として本堂・納骨堂・境内など日替わりで毎日掃除をしてくれて、お寺がピカピカになりました。(中でも人気の掃除場所は、トイレでした。)

午後4時には本堂で“重誓偈”のお勤めをし、作法も自然と身に付き、自由時間は境内でボール遊びやバドミントン、缶蹴りなどをして楽しみました。「臨時寺子屋」としての活動は、4月上旬とゴールデンウィーク前の2度、打ち切りましたが、子ども達と保護者からの継続の要望に応じて小学校が再開する5月末迄続けました。



お昼1番人気うどん



障子紙貼り体験

およそ3ヶ月間、新型コロナウイルスの猛威に緊張の連続でしたが、門信徒の皆様、地域の皆様、保護者の皆様の差し入れや、温かいお心遣いに勇気づけられ何よりの励みとなりました事、心より感謝申し上げます。ウイルスによる世間の状況は刻々と変化しているなか、とにかく無事に終えることができたのが何よりでした。

子ども達はウイルス問題に振り回されながらも楽しく元気に一日一日を精一杯生きていたようでした。そんな子ども達から、こちらに沢山の事を学ばせていただいた「臨時寺子屋」でありました。(坊主)

「宗門総合振興計画」 「ご懇志進納状況の報告①」

本山からの依頼額九三〇万円のところ、六一九名様より一〇二五・五万円のご懇志をお預かり致しました。篤くお礼申し上げます。

進納期限は三月三十一日で終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

次号の季刊誌にて、これまでご紹介させていただいた方々のご芳名をのみご紹介で、それ以外の情報は載せないように留意致します。匿名をご希望の方は八月末日までにご連絡くださいませ。

月忌参りについて

門信徒の皆様方におかれましては、新型コロナウイルスの感染が広がる中、不安な毎日をお過ごしのことと思います。

先日、月忌参りにお伺いしているご門徒の方から、「命日にお寺でお参りしていただけますか？」という提案がありました。

この機会に、ご自宅での月忌参りと並行して、毎日お寺で時間を決めて、特別にご命日の方の法要をしたかどうか、という意見が出ました。さしあたっては、毎日十六時のお夕事に、お名前を讀み上げてお勤めをすることにし

ました。

お寺としては、出来る限りご家庭のお仏壇でお参りさせていただくつもりではありますが、身近なところでは一人でも感染者が出るようならば、お寺の活動をすべて休止することになると思います。今後ご心配の方は、どうぞご遠慮なく月忌参りの休止をお知らせください。

新入職員紹介

福岡県より参りました高原亮司(たかはらりょうじ)二十一歳です。京都の中央仏教学院を出て、初めてお寺に務めます。熊本もほとんど初めてです。門信徒の皆様には厳しくご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



三月より臨時

職員として再びお勤めをさせていただきます。皆様との再会を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いします。

音光寺 澄子



どうぞお参りください

▼八月十六日(日)
歓喜会(孟蘭盆会) 並び百回忌追悼法要

※午後一時より、無量寿堂・納骨所でお盆の法要。一時三十分より、本堂にて法要・法話。

今年は大正十年(一九二一年)に亡くなられた方の百回忌にあたります。ちょうどその頃世界中でスペイン風邪が流行っており、日本でも約三十九万人という方が亡くなられたそうです。身近な方にもおられるかもしれません。

※覚法寺では、七月から、八月十六日まで、お盆のお参りをいたします。特に初盆を迎えられる方は、早めにお寺までご連絡ください。

▼九月十八日(金)

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
(東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
詳しくは、覚法寺までお問い合わせ下さい。

▼秋のお彼岸

九月二十一日(月)
二十二日(火)
二十三日(水)

毎月16日6時30分(宗祖親鸞聖人の御命日)
お寺に参ろう。門信徒総参拝

趣味の写真集や自分史を作ってみませんか?
1冊よりお作り致します。



PRINTING & COPY

株式会社 太陽社

●企画印刷 〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
●一般印刷物 TEL 096-366-1251
●カラーコピー FAX 096-364-7672
●データ入力

<http://www.taiyo-sha.net>

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の 令掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720